

# 田代よいとこーその25ー

## 田代小の歴史～校舎の変遷～

我が田代小学校は、明治6年の開校以来、142年を経ました。卒業生も3176人に達している、愛川町でもいや、日本でもっとも伝統ある小学校の一つです。



<写真1>最初の校舎と卒業生

今号では、本校の校舎の変遷についてご紹介しましょう。

学校要覧等を見ますと、本校は明治6年7月10日、孤嶽山長福寺の一部を使つてのスタートとなりました。長福寺はもともと勝楽寺（半僧坊のお寺と言つた方がわかりやすいでしょうか）の隠居寺でした。のち廃寺となり、寺の財物は本寺の勝楽寺へ移されますが、その名残といつたらいいのでしょうか、本校の脇には墓地が残されました。

写真1は、最初の校舎です。大正10年撮影。今から95年前のもので、なんと草葺き屋根です。



<写真2>火災に遭うまでであった木造校舎

<写真2>は大正14年11月10日に落成した校舎です。今の体育館の辺りにありました。写真左の「なつめの木」は現在も実をつけています。

この校舎は、昭和45年5月7日（今からちょうど36年前）不慮の火災のため大部分を焼失しました。<写真3>は、その火災後の惨状です。その後、昭和46年3月、今に続く鉄筋コンクリートの校舎が完成、同年7月4日には新装なった校舎と校歌の発表会が行われました。子どもたちが歌う校歌はこの年、今から35年前にできたのでした。

それまでは校歌というものはありませんでした。近隣の学校の多くがこのころ（昭和40年代）に木造から鉄筋コンクリートの校舎に改築されましたが、それに併せて校歌を制定した学校が多かったようです。



<写真3>火災後の惨状

突然の火事によって、子どもたちは分散して授業を受けることとなりました。焼け残った別棟2教室で1、2年生、農協田代支所（当時）2階へ3、4年生、愛川中学校体育館に5、6年生が行って勉強しました。50代以上の方なら、当時のことを覚えていらっしゃる方も多いことでしょう。エピソードなどお寄せいただけると幸いです。

### 【参考文献】

- 『目で見る110年』（目で見る110年編集委員会 昭和59年11月）
- 『教育100年のあゆみ』（愛川町教育委員会 昭和48年3月）
- 田代小学校学校要覧